昭和区　広路学区	住民交流	健康・福祉	青少年育成	環境・美化
	防犯・交通安全	防　災	歴史・文化・芸術	その他

新春親子ふれあいなわとび大会

【広路学区】

■世帯数：5,715 世帯
■人　口：10,910 人
■面　積：0.943ｋ㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1　活動・取り組みの内容

- 広路学区まちづくり推進協議会と広路学区子ども会共催で「新春親子ふれあいなわとび大会」を毎年１月に開催。会場は広路小学校で約 450 人が参加。
- 幼児から小学６年生の部と大人の部の個人戦と“おおなわとび”の団体戦があり、子ども会で参加者（親子）を募集する。本部は子ども会役員が担当する。
- スポーツ推進委員や学区体育委員が審判を担当。
- 参加者には前日より民生委員・女性会で準備した豚汁とつきたてのお餅を提供。参加者は“マイお椀＆マイお箸”を持参してもらい、保健委員会とのタイアップでゴミを出さない工夫をしている。

【住民への PR 方法】

子ども会で参加者を募集

【アピールポイント】

ルールを簡単なものにすることにより、参加者が増加した。親子で楽しめる。参加賞の豚汁とつきたてのお餅を、参加者の子どもたちが「マイお椀」「マイお箸」で食べることでゴミ減量の意識を高めることができる。子ども会だけでなく、学区の団体みんなで支えている行事である。

2 きっかけ、背景

なわとび大会を選択した理由は、ルールが簡単であり、誰でもできるスポーツであること。子どもたちだけを対象にすると、子ども会役員の負担が多くなるため、学区皆でサポートできる方法を考え、保護者も参加するようにして、多くの団体・ボランティアの協力を得て開催している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

民生委員児童委員、保健委員、女性団体・女性会、子ども会、スポーツ推進委員、体育委員、子ども会ボランティアなど　計約８０人

(2) 他団体との協力

区子ども会ボランティア

(3) 運営協力

子ども会の若い保護者や、他団体の人にも参加してもらい、それぞれの役割を知ってもらうことで自分たちだけが大変ではなく、分担すれば子どもたちが楽しむ行事ができると分かってもらえるのではないか。

4 実施のスケジュール

H23 年 ５月	広路学区連絡協議会（まちづくり推進協議会）事業計画承認
11 月	子ども会理事会（参加者募集）
12 月	学区連絡協議会役員打合せ（参加者数集計）
H24 年 １月	体育委員会（当日の審判打合せ）
1月27日	なわとび大会備品、食材(豚汁、餅米)準備
1月28日	なわとび大会開催　AM7:30 集合

5 成果と課題

成果・効果

参加者の増加、住民意識の深まり、住民間の交流の深まりに役立っている